



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町  
マスコット  
キャラクター  
「カーミン」

# かみかわ がみがわ

第54号

平成30年4月4日



桜と共演する神崎保育園児（桜華園さくらまつり）

平成30年度予算 ..... 2～3

予算・議案審議の様子 ..... 4～6

委員会の活動 ..... 7～11

5人が登壇 いっぱん質問 ..... 12～17

平成30年度

# 一般会計当初予算

## 過去最大の99億9000万円に!

- ・ 企業誘致、新規創業、事業拡大への支援
- ・ 6次産業化や循環型農業の取組への支援
- ・ かみかわブランドの発掘と積極的なPR
- ・ 観光施設に公衆無線LANを順次設置

平成30年度当初予算は、前年度対比8億400万円増の総額99億9000万円となりました。引き続き、アクションプログラムの4つの基本項目に沿って、いろいろな地域創生事業に取り組みます。

### 一般会計当初予算の概要

第83回定例会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町から報告3件、人事案件15件、条例の一部改正10件、補正予算9件、当初予算13件、承認4件、また、議員から発議2件の計56件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

また、一般質問は、5人の議員が行いました。

なお、今期定例会には区長会をはじめ、多くの皆さんの傍聴がありました。



まるしいたけの菌床栽培

### ①貸工場の整備

福本区に、雇用創出のための企業誘致（貸工場整備）として、まるしいたけ栽培を見込んだ農業施設を1億9032万円（過疎債を活用）、2カ年で整備するもので、本年度は設計委託、敷地造成と用地買収をします。

### ②CATVの基盤整備

引き続き、3億4900万円で、光ケーブル化

超高速ブロードバンド基盤整備を実施します。

提供サービス	更改後のサービス
地デジ再送信	・ テレビ大阪は受信設備を強化
BS再送信	・ 全町パススルーでの視聴が可能
CS多チャンネル	・ 姫路ケーブルテレビ(株)からのCS配信は協議中 ・ 全町パススルーで配信(個人契約が必要)
自主放送	神河町が提供(2ch)
4K/8K放送	【新規提供】パススルー方式 【注意】4K/8K放送に対応したTV等が必要
インターネット接続サービス	・ 民間委託により契約先変更 【改善】提供時期 平成31年4月1日から1Gbps(ベストエフォート)に増速 メールアドレスは継続
ラジオ放送再送信	4ch再送信

### ③ 病院北館の改築

病院北館改築工事と医療器機の更新費用、合わせて6億8686万円（合併特例債、過疎債と病院北館の耐震改修交付金）を一般会計で受け入れ、病院事業会計に繰り出して、引き続き改築工事を実施します。

### ④ 中央公民館の設備更新

温室効果ガスの二酸化炭素削減を目的に、2億174万円で、中央公民館の空調と照明設備を更新します。

### ⑤ 柏尾団地の新築

老朽化している柏尾団地を3億272万円で、5棟10戸移転新築します。



柏尾団地の完成イメージ

### 農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件例外適用の件

農業委員会等に関する法律が改正され、認定農業者等が委員の過半数を占められない場合は例外が認められています。当町では、農業委員の4分の1以上を認定農業者等、またはこれに準ずる者で構成することに同意しました。

### 農業委員会委員の任命の件

上位法の改正により、これまでの公選制から町議会の同意を得て任命することに改正されたため、新たに14人の農業委員の任命に同意しました。

### 印鑑条例及び手数料条例の一部を改正する条例制定の件

今年4月からマイナンバーカードを利用してコンビニで住民票、印鑑証

明書等の交付サービスができるようになることから、関係する条項を見直しするものです。

また、住民票の写しの交付は、世帯人数に関係なく200円になります。

### 介護保険条例の一部を改正する条例制定の件

3年ごとに介護保険事業計画を策定し、第1号被保険者の介護保険料を改定するもので、月額基準額をこれまでの5700円から5800円に引き上げるものです。

### 一般会計補正予算（第9号）

補正予算（第9号）は、道の駅整備事業、クリーンセンター負担金の減など事業の決算見込み等により、歳入歳出それぞれ3億721万7000円を減額するものです。

### 発議第1号

### 神河町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例制定の件

議員が長期間にわたりその職責を果たすことができない場合、または住民の信頼に反する行為をした場合に、議員報酬及び期末手当を減額する条例を、新たに制定しました。

欠席期間	減額割合
90日を超え180日以下	20%
180日を超え365日以下	30%
365日を超えるとき	50%

# 予算審議 主なQ&A

## 歳入

**Q** 大河内発電所の償却資産が前年度より2500万円程度増えている。大規模な投資があったのか。

**A** 発電所の改修をされたと聞いている。

## 歳出

### 土木費

**Q** 空き家を改修し、町営住宅とすることは山間部には良い話だ。今回は国の制度なので、

学校、駅がある等の基幹的集落の制約があるが、今後、町単独でもやる考えはあるのか。

**A** 事業の目的として、中心部以外の活性化がある。今回の事業を検証し、次のステップを考えていきたい。

### 総務費

**Q** 福本区内の企業誘致関連で、町が農地を取得できるのか。

**A** 農業用施設用地として取得し、地目変更する。

### 民生費

**Q** 高校生の医療費が無料になるが、施行日は7月1日。4～6月の3ヶ月間も無料にできないのか。

**A** 医療機関や国保広域連合等への周知に、期間を要する。現金給付も考えたが、事務量が膨大になり難しいと判断した。

### 消防費

**Q** 防災無線の受信調査費の内容は。

**A** 現在、一部の地域で不具合が出ている。電波を強くできるかどうかを調査する。

まず、シミュレーションを行い、効果があると判明すれば、政策調整会議等で検討する。

## 反対討論 藤原 資広

大切に使って！

辺地債を活用してのスキー場整備に続き、今回も過疎債を活用しての「まるしいたけ栽培施設」の整備に反対する理由は、辺地債も過疎債ともに「生活設備の他地域との生活水準格差の是正」にある。

人口減少と少子高齢化が進んでいるからこそ、過疎債本来の目的に沿って過疎地域に必要なインフラ整備等を効率よく推進し、地域を維持・継続させていくために必要な施策の展開に傾注すべき時だと考える。

今、町外の企業進出の支援を優先して展開する前に、町内の商工業の振興に必要な施策を優先して展開すべきだ。

地域を守り、維持・発展していただける主役は町民の皆さんしかいないということを決して忘れてはいけないと考える。

## 賛成討論 三谷 克巳

いろんな手法が必要

人口が減少していく中で、地域の活力増進、人口増を図っていかねばならない。

地域創生事業等で取り組んでいるが、特効薬がないので、いろんな事業を計画したため、100億近い大規模予算になったと思う。

予算執行にあたっては、目的、効果を見極めて執行してもらいたいと本会議で要望している。また、それを監視するのも議会の役目だと思う。内容的には、ハード事業、ソフト事業ともに充当できる過疎債を有効に活用している。

また、貸工場の整備を町が事業主体になって進めるのも1つの手法であると思っている。

町の実情から、いろんな手法を考えた中での予算であるので賛成する。

## 賛成討論 藤原 日順

過疎対策に有効

当町の標準財政規模に比して30年度予算は倍近い金額になっている。しかし、病院改築・柏尾住宅の建替えなど特殊事情があり、やむを得ない。

地方債の21億6950万円のうち、過疎債は8億2610万円で、その用途にはコミュニティバス購入やカーボンマネジメント事業、道路整備など過疎対策に有効な事務事業が挙げられている。争点になってきている貸工場整備についても、新たな雇用創出が期待できることから、過疎債の使途としてふさわしいと考える。

### 衛生費

**Q** 中播北部クリーンセンター負担金が対前年度約5800万円下がっているが。

**A** 組合会計では、RDF施設の起債償還が完了し、約1億6800万円の減額となった。

### 商工費

**Q** スキー場の緑化工事費があがっているが、以前は外国の種子が混ざっているので、緑化できないと説明を受けていたが。

**A** ゲレンデ部分は緑化できない。検討中である。今回はセンターハウス周辺を芝生化する。

### 教育費

**Q** 越知谷・長谷両小学校の改修工事は、地元の要望に応えた内容になっているのか。

**A** 長谷小学校は各階のトイレ1基を洋式化する。また、両小学校ともに普通・特別支援教室に冷暖房を完備する。

### 農林水産業費

**Q** 有害鳥獣対策費が倍増している要因は。捕獲檻の設置、ドローンによる追い払い、金網柵・電気柵の設置を予定している。

### 公債費・予備費

**Q** 前年度に比べて予備費が倍増しているが、数年前から500万円では、緊急対応時には不足と考えていた。

### 総括

**Q** 前年より職員が減っている中で、100億円近い予算を執行しなければならぬ。

少ない人数で効率的に事業執行するには、決算特別委員会でも提言したように、各課の連携強化が必要ではないか。

**A** これまで以上に連携を強化し、職員の健康管理も含め、管理体制を築きながら、職員一丸となって頑張っていくたい。

### 反対討論 藤森 正晴

#### 1日でも早く 過疎の町返上を

今、神河町において大事なものは、いかにして過疎の町から脱出するかである。

朝来市は、住みたい田舎ランキング近畿地区1位である。何もしないでなったのではない。

我が町も豊かな自然を生かし、また、増えつつある空き家等を活用し、他にないまちづくりにより、予算を計上し、知恵を出し、汗をかき、新たな視点に立った行政の転換が求められている。やるか、やらないかとは大きな違いがある。1日でも早く過疎の町を返上し、兵庫のまんなかでキラリと光る町になる予算でなければならぬ。

### 賛成討論 小寺 俊輔

#### 地域活性化に期待

地方交付税等が年々減少していく中での100億近い大型予算であり、将来の財政が心配されるが、財政特命参事がしっかりとシミュレーションされている。

また、過疎債についても企業誘致だけでなく、コミュニティバス対策、小学校施設整備、空き家改修、町道維持改良費など過疎地域活性化促進のために配分されている。予算を適正に執行し、地域活性化や企業誘致による町内での雇用確保を期待し、賛成する。

### 賛成討論 小林 和男

#### 企業誘致は過疎脱却の特効薬である

当該企業のまるしいたけの栽培方法は、従来の原木に駒菌を打ち込む方式ではなく、菌床栽培方式で、その栽培技術は、企業に特許権がある。そのため、我が町がまるしいたけの独占産地化を狙える。加えて、古くなつた廃菌床を堆肥化し、農業資材として再利用する計画もあり、我が町で進行中のアグリイノベーション事業で利用すれば、一石二鳥になる。

企業誘致に過疎債を使うことは、過疎から脱却するために財源を有効活用している点で、過疎債の趣旨に合致している。企業誘致は雇用を生み、税収を豊かにし、人口増大と消費拡大に繋がります。すなわち、企業誘致は過疎脱却の特効薬である。

## 議案等の審議結果

### ◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第1号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第2号	専決処分の報告の件(支払督促の訴訟への移行による訴えの提起について)
第3号	専決処分の報告の件(支払督促の訴訟への移行による訴えの提起について)

議案番号	件名
第1号	神河町農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件例外適用の件
第2~15号	神河町農業委員会委員の任命の件(14件)
第16号	神河町印鑑条例及び神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第18号	神河町特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第19号	神河町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第20号	神河町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
第22号	神河町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第23号	神河町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第24号	神河町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第25号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第26号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第9号)
第27号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
第28号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第5号)
第29号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
第30号	平成29年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第3号)
第31号	平成29年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第2号)
第32号	平成29年度神河町水道事業会計補正予算(第4号)
第33号	平成29年度神河町下水道事業会計補正予算(第4号)
第34号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第4号)
第36号	平成30年度神河町介護療養支援事業特別会計予算
第37号	平成30年度神河町国民健康保険事業特別会計予算
第38号	平成30年度神河町後期高齢者医療事業特別会計予算
第39号	平成30年度神河町介護保険事業特別会計予算
第40号	平成30年度神河町土地開発事業特別会計予算
第41号	平成30年度神河町訪問看護事業特別会計予算
第42号	平成30年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計予算
第43号	平成30年度神河町寺前地区振興基金特別会計予算
第44号	平成30年度神河町長谷地区振興基金特別会計予算
第45号	平成30年度神河町水道事業会計予算
第46号	平成30年度神河町下水道事業会計予算
第47号	平成30年度公立神崎総合病院事業会計予算

発議番号	件名
第1号	神河町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例制定の件
第2号	神河町議会議員の議員報酬、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件

### ◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					藤原裕	藤原白	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部	
第17号	神河町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件	10	1	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第21号	神河町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	10	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第35号	平成30年度神河町一般会計予算	9	2	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—

承認番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					藤原裕	藤原白	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部	
第1号	神河町住宅マスタープラン後期計画の策定の件	10	1	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第2号	神河町国民健康保険第1期データヘルス計画及び神河町国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画の策定の件	10	1	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第3号	神河町高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定の件	10	1	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第4号	神河町障害者計画及び第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の策定の件	10	1	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○は賛成、×は反対です。12番、議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

# 委員会の活動

## 総務文教

### 教育課

2月9日開催

### 教育課

**Q** 小規模校の今後のあり方は、地域と保護者の調整が必要だと思えるだけ幅広く意見を聞いてほしい。

**A** 長谷小学校は、保護者アンケートを行い、その上で、地域の意見を聞きながら取り組む。

越知谷小学校も、アンケートを行い、地域の方との会合を持ちたい。方法等は区長様と相談しながら進める。

**Q** 歴史文化保存活用計画による地域づくりは、住民の受け止め方に温度差が出ると思う。

**A** 町全体に及び取組が必要だ。

**A** 町全体を同時にはできなかつた。

各地域の宝物が生かせる取り組みを進めたい。

**Q** 峰山でのスキー教室は、子どもたちに好評であったようだ。

**A** 今年はどうするのか、問題はなにか。

数年は継続したい。保護者に負担をかけるないように実施したため、町費が膨らんだ。大きな問題はなかつたが、事故対応が課題である。



好評だったスキー教室

**Q** 地域交流センターは、来年度10人ほどの応募と聞くが、受け入れ農家の状況はどうか。地区外に依頼する考えはないか。

**A** 定員12人であり、多くの応募者がある。1戸に2人で、6戸程度は確保したい。

目的が越知谷地域の活性化で、地区外は考えていない。

### 情報センター

**Q** インターネットの民間参入で、運営に支障が出ないか。

**A** 利用料とスピードでは見劣りしないが、CS放送等のサービスは民間が優位。

今後、番組の質を上げる取組を指定管理者と協議したい。

### 税務課

**Q** 病院の滞納分に、支払督促の法手続きを取ったが、他部署にも知ってほしい。

**A** 職員研修を充実し、他の私債権にも波及させたい。

**Q** 口座振替に対する納税報奨金の検討状況は。

**A** 4月からコンビニ収納等が始まり、状況が変わる。今後の動向を見て検討していく。

### 会計課

現金等の保管状況は、適切である。

### 総務課

**Q** 大山小学校跡地に、関係区から防災施設設置の要望が出ているが。

**A** 防災拠点としての考えはない。要望の中の交流施設としての活用は協議したい。

**Q** 内部統制・危機管理は、必要な情報の共有を各課で行うようだが、全職員で共有する必要があると思う。具体的な方法は。

**A** 課内で共有し、全体に広げていく。グループウェアの活用を考慮する。

**Q** 当委員会に過疎債の30年以降の計画を、事前説明すると約束していた。

説明がないまま、企業誘致に過疎債を充てる計画が進んでいる。

財政計画や誘致の根拠もあいまいなまま進んでいると思うが。

**A** 平成30年度の過疎債の発行予定額8億円のうち、3億円を充てる。詳しい資料を提出する。また、法的な面も点検する。

2月7日開催

公立神崎総合病院

**Q** 医療費未払い等の債権が消滅しないよう、時効の中断の手続きはしているのか。

**A** 時効の中断は未収金の全てにはできていない。電話や督促状を送るだけでは中断していることにならず、契約による相手方の意思表示が必要になる。

解釈を間違っていたので、以後は訪問や裁判所への申し立てにより支払督促を行っていく。

**Q** 産婦人科を残してほしいという要望が強いが。

**A** 産婦人科の診察は継続する。

産婦人科学会では、分娩取扱施設には3人以上の医師が必要であるとしており、医師確保が困難なことから、分娩は廃止

とした。しかし、チャンスがあれば再開したい。

**Q** 妊婦の方の中には、マリア病院等までの距離に不安を感じる方もあるはず。緊急時の対応策等で不安軽減を。

**A** 健康福祉課と連携し、できることがないか、可能性を検討していく。

**Q** 窓口カウンターが高いため、カバンからの財布等の出し入れに苦慮されている。

**A** 認識はしている。南館改修時にと考えているが、応急措置の方法等は内部で検討していきたい。

健康福祉課

・神崎建築組合工事人会からの「何かできることは」の申し出により、2月14日、神崎支庁舎で『住宅改修勉強会』を開催。  
【内容】  
・介護保険制度における

住宅改修の説明。  
・人生いきいき住宅助成事業の説明。  
・高齢者に対する住宅改修を行う際のポイント。

**Q** 福祉施設の介護職員確保のために、行政としてもう一歩踏み込むべきでは。

**A** 町内施設の状況は認識している。介護職員の不足は全国的な傾向であり、海外に

目を向けて確保していく考えで動き始めている。

**Q** 地域包括の介護支援専門員（ケアマネージャー）の募集をしているが、「59歳以下で嘱託職員」の条件では、応募が無いと思うが。

**A** 健康福祉課では、栄養士や訪問調査員等も嘱託職員であり、プランスを考えての募集である。

**Q** インフルエンザ予防接種の助成対象者を広げる考えは。

**A** 重篤化を防ぐため、高齢者と内部障がい者を対象としているが、福崎町が乳幼児を対象とした例もあり、検討していく。

住民生活課

**高校生も医療費無料化に**  
・平成30年7月から、高校生等医療費助成事業が実施される予定。  
対象者数：363人  
予算：システム変更も合わせて約1000万円。

**Q** 防犯灯と街路灯の設置基準を明確にし、町内の均衡を図ってほしい。

**A** 現在、紙ベースのものをデータ化し、位置図に落とす作業をしている。  
幹線町道と県道についている街灯の用途区分を検討課題として取り組んでいく。



住宅改修勉強会

## 産業建設

2月6日開催

### 建設課

・橋梁長寿命化修繕事業で262橋全ての修繕計画策定結果から緊急、優先順位を決定。修繕対象は96橋となっている。

### 橋梁修繕を早く

**Q** 地域の方の交通等の不便を考え、過疎債等を使ってでも、早期の改修を進めよ。

**A** 実績も加味しながら有効な財源を使い、少しでも早く進めたい。

### 上下水道課

### 水道管総延長194km

**Q** 漏水率・有収率ともに悪化している。老朽化が主な原因だが、敷設替え計画の手順は。

**A** 本来は古い管から入れ替えた方が、補助事業の上限が10億円であり、下水工事の時に入れ替えた部分もある。

40年以上経過し、過去に故障があった約13kmを10年間で入れ替えていく予定である。

### 地籍課

### 立会人不足どうする

**Q** 順調に進んでいるが、問題点はないのか。

**A** 現地への立会いが困難であり、委任をしたいという方が増えてきている。

国では精通者を集めて境界を確定し、土地の所有者に確認してもらい、机上でやる方法を検討している。

### 地域振興課

### 《農林業係》

### 水産業振興に補助

・水産業の活性化事業全般に、50万円を上限とした補助制度を新設する。

### 危険木伐採に補助

・樹木の倒伏により被害を受ける住宅、また、集落が管理する施設の危険木の伐採に補助制度を新設する。

**Q** 「道の駅」の食事の味が変わった、農産物が少ない等の風評があるが。

**A** 農産物の販売所は露天で、寒さが厳しく販売が困難であった。また、販売スペースが狭いこともあり、関係者と反省会を開き、方向性を見出ししていく。  
食事については、受託者と協議する。



イベントで賑わう道の駅

### 《商工観光係》

### 相乗効果はあるのか

**Q** こつとん亭横のコンビニ店舗は繁盛しているか。

**A** スキー場関係者・近隣の方も助かると言って利用されている。大変繁盛している。



賑わうコンビニ風店舗

### いつ直すのか

**Q** こつとん亭横のトイレが故障し、使用不可のままになっているが予算がつきしだい早急に直す。

### ひと・まち・みらい課

### 企業誘致メリットは

**Q** 福本区に誘致するまるとしいたけ事業は、土地・建物を町が整備し、(株)シンケンに貸付する。町のメリットは何か。

**A** 30人程度の雇用が発生する。また、希望者に栽培技術の研修をし、収益を上げていただく。(株)シンケンには、国内生産販売の特許を持っており、成長企業である。状況によれば本社を神河町に移すとも言っている。

### 財源は

**Q** 過疎債を活用予定だが、ほかに財源はないのか。

**A** あらゆる補助事業を調べたが、唯一あったのが2分の1補助の地域経済循環創造事業交付金で、最大4000万円である。残りは過疎債になる。

2月13日開催  
現地調査及び事務調査

・(株)松村組より工事状況の説明を受ける。



・契約金額を、透析患者の増による病床数の増設、手術室1室を倉庫に変更、特殊浴槽等の廃棄処分等により、993万円減額する。

・アスベストの除去処分費用は、撤去範囲や工法、工期の詳細を確定するのが困難であるため、調査で判明すれば別途工事とする。  
第1期工事にかかるアスベスト除去費用は、380万円となる。

・南館エレベーター2基のリニューアル工事と透析用排水処理施設の工事は、31年度に施工する。  
・神崎同友会から寄贈を受けたモニタメントは、支庁舎に移設した。



第1期解体工事が終わった敷地

## 主なQ&A

### 騒音対策

**Q** 騒音測定方法はどのようにしているのか。

**A** 敷地境界線の防音シート内側で、全作業時間において、5秒ごとに測っている。



境界に設置されている騒音・振動測定器

**Q** 近隣住民から測定値の高い時があったと聞か、現状はどうか。

**A** 法定基準値の85デシベルは超えていない。

**Q** 基準値を超えた時は、どう対応するのか。

**A** まず超える事はない。万が一超えた場合は、工法を変え検討する。

## 峰山高原スキー場整備 事業調査特別委員会

2月1日現地調査  
2月13日開催  
3月8日開催

### 造成工事

新たな湧水の対策工事を284万円で実施。  
総事業費は10億9254万円、一般財源は2億5834万円、過疎債は2億5470万円。

### 案内看板

貝野橋東詰交差点の電光掲示型看板は、1月末から利用開始。

看板類の設置費の財源として、企業版ふるさと納税で3400万円の寄付を受けた。

### 宣伝・広報

テレビ・ラジオのコマーシャル放送、インターネット広告などの広告宣伝を地方創生拠点整備事業で実施。

### 従業員雇用状況

従業員数は40人で正規社員は8人、町内雇用はなし。臨時社員は32人で町内雇用は17人。

### 利用状況

今期の利用者数は5万6784人。  
輸送バスの利用者数は8847人。  
売上額は、リフト売上7911万円、飲食売上3104万円、スクール売上448万円、用具レンタル売上6696万円、駐車場、カーミンパーク、売店等売上4221万円、合計2億2380万円。  
想定以上の入込者数で、駐車場が不足し、交通渋滞を起こした。  
不足台数を調査するなど研究して対応したい。

12月に上小田地内で2件の交通事故が起きた。スキー場危機管理対策会議での改良検討を要望した。

## 主なQ&A

**Q** 土・日は盛況で、セーターハウスがパニック状態であった。設計ミスではなかったのか。

**A** 利用者の利便性を考えて切符売り場、レンタル場所、食堂を集約した。

**Q** 結果的に許容量がオーバーした。  
また、ファミリー層の利用が多く、滞在時間が長かった。

**Q** スキー場は、雇用の場としての設置目的もあつたが、人が集まらない状況である。  
(株)マックアースはどのように考えているか。

**A** 労働者不足は、全国的な問題で確保は難しい。今後もさらに募集していく。  
待遇改善も考えなければならぬが、経営面の課題もある。

**Q** 駐車場利用料を道路の除雪費用に充てることで指定管理者と協議はされたか。協議結果は。

**A** シビアな意見調整になつている。再度協議をする。

**Q** スキー場の波及効果がどう出ているか。

**A** JR、こつとん亭、ホテルリラクシア、モンテ・ローザ、グリーンエコーの利用増、食材の確保、ガソリンスタンドの日曜営業など効果が出てきている状況である。

**Q** スキー場は町民の協力がなければうまくいかない。町民へのお礼的なものを考えてもよいのではないか。

**A** 観光連携会議では、スタンプラリーで割引券を発行されている。そういうことも含めて、何かをお願いしていきたい。

**Q** (株)マックアースは、オープン年度でどのような経営戦略をもつておられたのか。

**A** (株)マックアースは、既に多くの投資をされている。

スキー人口を増やしたいという思いと地域と一緒にやっていきたいという思いがある。



満車状態の駐車場

# みなさんの **声** を

# 町政に

**一般質問** は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は5人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
13	小林 和男 議員	①旧粟賀小学校跡地利用は
14	廣納 良幸 議員	①教育長の抱負と決意を ②新しく指定管理者になられた施設の状況は
15	三谷 克巳 議員	①山間部の営農課題の対策は
16	藤森 正晴 議員	①地域になくてはならない病院への思いは ②職員の資質向上についての改善策は
17	松山 陽子 議員	①神河町の障がい者等福祉施設のあり方と支援策は

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

# 栗賀小学校跡地をどうするか



小林 和男 議員

町長

集客施設が付いた複合公共施設をつくる予定

**Q** 栗賀小学校跡地をどのようにするのか。

**A** ひと・まち・みらい課長 ワークショップを開催して協議している。

現在の案は、公民館機能（神崎公民館の廃止後の代替）、体育館、図書館機能、歴史資料館、収益を得るための集客施設、東西を繋ぐ道路、広場、公園、駐車場。PFI（民間主導による公共サービス提供）を進めている。参加企業を募った結果、1社が案（建設費は町負担が前提）を出した。

**Q** 住民からの要望として、リーススペース、憩いの場、子どもの遊び場（西脇市の「みらいえ」を参考）、健康増進施設はどうか。

**A** ひと・まち・みらい課長 ワークショップでも意見が出ている。いずれにしても町内外から人が集まる場にする必要がある。

**Q** 岩手県柴波町で、バレーボールの国際基準を満たす体育館を作り、好評を得た例がある。参考にしてはどうか。

**A** ひと・まち・みらい課長 意見は承る。しかし、体育館を新設すると、長谷地区の既設体育館との兼ね合いで、地元協議が必要になる。

**Q** 建設費を企業負担にする見込みが外れたが、過疎債（7割が国の予算）が利用できるようになったので、建設費は町負担でも良いのでは。

**A** ひと・まち・みらい課長 過疎債の利用も視野に入れている。概算の事業費が出たら判断する。

**Q** 神崎公民館と体育館を取り壊した跡地に、過疎債を利用してオフィス棟と住宅棟を建て、IT企業やクリエイティブ系企業、研究開発系企業等を誘致できないか。

**A** ひと・まち・みらい課長 しごとの創出は大変重要な課題あり、検討する。現在整備中の光ケーブルはIT関係の事業者へPRできる。情報発信を強化して企業誘致に努める。

**A** 町長 企業誘致については、ただ待つだけではなく、こちらから出向いて努力する。



旧栗賀小学校跡地

## ひとこと

公民館はみんなのもの。  
老若男女、意見を  
聞くべき…

# Q 入江新教育長に伺う！ 神河町の子ども・児童・生徒に どのような教育を！



廣納 良幸 議員

## 教育長

学校教育の中で育みたいものを、自身の造語ではありますが「五全力」といい、「挨拶に全力」「清掃に全力」「勉強に全力」「部活に全力」「仲間へ全力」というものです。基本的な生活習慣として最も大切な挨拶、奉仕の精神である清掃、本分である学習、体を作る体育・運動、そして、仲間・人を大切にする心と態度を育てる5つの基本姿勢を示しています。

私には、「子どもは、一人一人素晴らしい力を持っている」という信念がありますので、この基本的な5つのことに力一杯取り組む中で、さらにその持てる力を伸ばしたり、新たな力へと結びついたりすると確信しています。幼児から中学生まで、発達段階に応じて、町内の幼稚園、小中学校それぞれに合う形で実践に結びつけたいと考えています。

次に、社会教育の充実です。全ての人が生き甲斐のある生活をし、神河町に住んで良かったと思える教育を進めていきたいと思っています。特に、①神河町「人権尊重のまち宣言」の下、人権意識を高め、互いを認め、尊重し合える豊かな人間関係を築いていく人権教育、②公民館教室や神河シニアアカレッジ、ふるさと文化祭等での文化教養を高めるための文化活動、③子育て学習センター、きらら館等における子育て環境・子育て支援、④スポーツ推進委員会や体育協会等と連携した健康安全の向上に向けた様々なスポーツ活動、⑤「神河町歴史文化基本構想」を基にした福本遺跡や日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」等の地域の歴史文化遺産を活用した町づくりの5点を中心にして取組を推進していきたいと考えています。

# Q 新しく指定管理者になられた施設の状況は！

町長

峰山高原スキー場の総来場者数は6万人を超えた！

## 観光振興特命参事

各施設の評価を100点満点で平均点を60点として評価しています。

結果としては、概ね平均点となっているが、事情により若干平均より下回っている部分も見受けられました。

施設によって、来場者数・売上等にバラツキはあるが、野外の施設が多く、天候に左右された面もありました。地元地域と役割・指定管理者等が

観光資源を守る上においても、協力関係を強化し、神河町全体で考えていかなければと思います。

町長

観光施設のみならず、神河町全体の事業所の地元雇用が促進すれば、一番良いと考えています。交流から定住で、多くの人達が集まる町でなければ、これからの街づくりはできないと強く思っています。国・県においても交流人口の拡大が大きな流れとなっています。神河町も遅れないように頑張っています。



満員の峰山高原スキー場

# Q

## 山間部の営農課題の対策は



三谷 克巳 議員

町長 前回同様、進捗が図られていない

**Q** 山間部の農業は、従事者の減少、労働負担の大きい農作業、有害鳥獣被害による生産意欲の減退などにより衰退してきている。  
この現状から4点の課題について尋ねる。

① 農業従事者、担い手の確保、育成にどう取り組むのか。

**A** 農林業特命参事 集落営農の組織化、隣接集落と連携した組織の広域化が必要。

農業用機械の導入補助、オペレーターの育成支援等で担い手の確保を行う。免許取得経費を全額補助し、後継者育成・営農組織、猟友会の組織強化を行い、育成を図りたい。29年度に5人の就農希望相談があり、指導助言を行っている。

② 米以外の作物の生産拡大、適地適作物の開発・生産をどう奨励するのか。

**A** 農林業特命参事 一番の適地適作物は、米なので、生産を進める。奨励作物は栽培面積の拡大、販路の確保が必要なものもあるので、条件不利地に対する資材の支援などを行い、農地環境を守ることが重点に検討したい。

③ 鳥獣被害対策の防護柵の設置・改修、猟友会への捕獲・追払いの協力依頼はどのようにするのか。

**Q** 農産物を道の駅、直売所で販売し、町内での経済循環を目指すべき。農産物を集荷する人の配置も必要と思うが。

**A** 農林業特命参事 直売所への出荷、集荷までのことは、現段階では考えていない。今後の検討課題。

道の駅は、「道の駅応援団」とも協議して、仕組みを考えていきたい。

捕獲用の地獄檻の台数を増やす考えはあるか。

**A** 農林業特命参事 防護柵の更新は、国の補助金を活用する。

30年度予算では、町単独補助金を計上した。修理等は、中山間直接支払交付金、多面的機能交付金等で対応をお願いする。捕獲・追払いは、監視員を中心に行っていく。地獄檻は、設置場所、餌の管理等を地元、猟友会等と協議して増やしたい。

④ 労働負担を軽減するために、土地改良事業補助制度、農業用機械施設整備支援事業補助制度を見直す必要があると思うが。

**A** 農林業特命参事 町単独土地改良事業の補助率アップは、財政面から将来的な検討課題としてほしい。

農業用機械施設補助は、条件不利地を活用する農家や新規営農組合等への支援を検討していく。

**Q** 防草ネット、畦のコンクリート経費の補助は考えられないか。機械施設整備の補助率を上げられないか。

**A** 農林業特命参事 農機具庫も補助が受けられるように改正を。検討していきたい。



急峻な畦畔に張られた防草ネット

### ひとこと

町独自の施策で山間部の農地を守らないと。



# 病院経営診断を受ける 結果は良性か悪性か



藤森 正晴 議員

この度、公益社団法人  
全国自治体病院協議会に  
よる経営診断報告が行わ  
れた。類似病院と比較し  
ても、個々の経営数値は  
非常に良好であるが、い  
くつかの課題が示された。

## 課題Q&A

**Q** 経営健全化の1つで、  
内科医師確保が急務  
であるが、進んでいるの  
か。

**A** 町長 神戸大学医学  
部卒の医師が10月か  
ら常勤、また、非常勤で  
あるが、4月から来てい  
ただく最終調整の段階で  
ある。

**Q** 医師確保には、最低  
でも年2回は定期的  
に訪問すべきとのアドバ  
イスだが、実行している  
のか。

**A** 町長 年2回は実行  
していない。回を重  
ねるのでなく、時折、状  
況を見て判断して行っ  
ている。

**Q** 情報が無くても、お  
願いに行き、誠意を  
示すべきではないか。熱  
意はあるのか。

**A** 町長 常に熱意はあ  
る。

**Q** 町からの繰出金が5  
億円余りであるが、  
その中に交付税として病  
院分が含まれている。幾  
らほどの概算になるのか。

**A** 財政特命参事 普通  
交付税で約2億70  
00万円、特別交付税は  
ルール分で5000万円  
程である。



医師確保で救急体制の充実を

**Q** 差引すると1億80  
00万円余りの繰出  
金になるが、町民の方は  
理解されている方が少な  
い。報告機会があれば伝  
えるべきと思うが。

**A** 財政特命参事 予算  
が確定すれば、町の  
ホームページや広報の中  
で報告する部分があれば  
知らせる。

## 職員の資質向上で 日本一の役場を

**Q** 職員から異動要望が  
ある時の対応は。

**A** 副町長 年1回検討  
している。また、面  
談もし、人事異動時に配  
慮している。

**Q** 部署によっては、仕  
事量の多い時がある。  
互いに助け合うワーク  
シェアリングを取り入れ  
てはと思うが。

**A** 副町長 各課の管理  
職に任せており、量  
の多い時は課内でヒヤリ  
ングをしながら対応している。

**Q** 地域局がなくなっ  
てから支庁舎のサービ  
スが悪くなっているが。  
副町長 窓口業務は  
幅広い知識を要する。  
健康福祉課と協力し合う  
事になり、ご迷惑をかけ  
ていると思うが、努力し  
ていきたい。

## ひとこと

いつになればハートの  
ふれあうまちな  
なるのかなあ。

# Q チャンスを逃さないための 積極的支援策を



松山 陽子 議員

町長

用地確保支援や補助申請等、  
精一杯の協力は惜しまない

昨年4月に、「デイサービスセンター蓮」が、同施設内に障がい者の生活介護・放課後デイサービス等を実施する「つなぐ」を開設された。

それ以降、町社会福祉協議会や町内外の事業所からも、障がい者施設を神河町に開設したいとの話があると聞いている。

今こそ障がい者福祉を広げる大きなチャンスである。早急に町としての施設整備の具体的構想を示す必要があると考える。

**Q** 以前から、多くのご家族は緊急時のことを心配し、365日対応してもらえる（地域生活支援）体制が早くできることを強く望んでおられる。そのためにも、事業所間の連携・協力体制が大切である。

有効な施設整備をするため、計画段階で関係事業所が集まり、どういった施設が必要かを検討する場を設けては。

**A** 町長 町外の事業所は「親亡き後の生活の場や生活の質の確保が急ぎ必要である」との考えで、グループホームの整備を計画されている。

引き続き、申し出の事業所と情報交換・打ち合わせをするともに、今後は、担当グループ会議や政策会議へとつないでいきながら、町としてできる支援について、協議検討を進めていく。

**A** 健康福祉課長 まず、は、個別に話を聞き、その後、全体的な協議会などの体制を作っていくらばと思っている。

**Q** 旧栗賀小学校跡地に障がい者の施設等を入れる考えは。

**A** 町長 学校跡地は、民間資本で公共施設（図書館・公民館機能・資料館）と収益施設等を建設してもらおう提案をしている。今年度中に判断を下し、30年度に設計に入る予定であるが、状況により再検討となる場合もある。

**Q** 障がい者の施設整備に対し、企業誘致・創業支援の一環と捉えた積極的支援策の検討を。

**A** 町長 現在の企業誘致及び雇用促進条例は、指定した地区に工場等を新設する場合を想定

しており、該当しない。新規、または第二創業に対する支援策の創業促進事業補助金も、社会福祉法人は対象外となっている。

**Q** 具体的支援とは。

**A** 副町長 土地の提供等については、現段階では答えられない。社会福祉法人の余剰金を投入して建設しても、運営資金の問題もある。しっかりと話を詰めた上で、町としてどのような汗のかき方が適切であるか決めた。

## 提案のある 障がい者施設

社会福祉協議会

・活動の拠点及び集いの場

町外の事業所

・グループホーム

男女7人の14床を計画。

数年後に、定員20人の

「生活介護施設」も予定。

大阪の事業所

・神河町にない障がい者施設

町内の介護保険事業所

・就労継続支援A型事業所

## ひとつこと

養父市が「日本一福祉が充実したまち」を。

わが町も『全国のモデルとなる事業の

創造』を目指していたはず…

# 主な議会日程

## 5月

2日(水) 第84回臨時会 (議会構成)

15日(火) 人権文化推進特別委員会

17日(木) 産業建設常任委員会

18日(金) 公立神崎総合病院北館改築  
事業調査特別委員会

22日(火) 総務文教常任委員会

24日(木) 民生福祉常任委員会

## 6月

12日(火) 議会運営委員会

15日(金) 第85回定例会  
(提案・質疑等)

18日(月) 総務文教常任委員会  
(付託議案)

21日(木)～22日(金)

定例会 (一般質問)

27日(水) 定例会最終日 (採決)

※この日程は改選後の予定なので、変更となる場合があります。

# いっぱん質問

## ケーブルテレビ放映

### 第83回 定例会

再放送が行われます。  
ぜひご覧ください。

- |              |            |          |
|--------------|------------|----------|
| 5月8日<br>(火)  | ① 小林 和男 議員 | 午後7時00分～ |
|              | ② 廣納 良幸 議員 | 午後8時00分～ |
| 5月9日<br>(水)  | ① 三谷 克巳 議員 | 午後7時00分～ |
|              | ② 藤森 正晴 議員 | 午後8時00分～ |
| 5月10日<br>(木) | ① 松山 陽子 議員 | 午後7時00分～ |

## あとがき



今期、最後の「議会だより」の編集となりました。議会活動や行政情報を多くの皆さんに伝えようと、読み易く、分りやすい紙面づくりに取り組んできました。

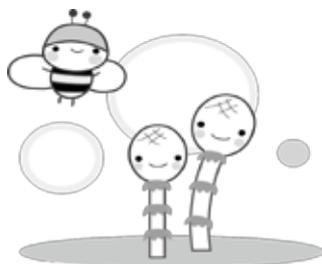
文字を大きくしたり、研修で学んできた編集方法を取り入れたりして、限られた紙面の中で、工夫をしました。

議員は12人だけですが、いろいろな考え、見方があります。

そのことを伝えたいという気持ちが勝ってしまっ、文字が多く読みづらい紙面になってしまったなど思っています。

読んでもらえる「議会だより」の編集の難しさを痛感した私たちでした。

(K・M)



広報公聴活動調査

特別委員会

委員長	藤原 資広
副委員長	三谷 克巳
委員	山下 皓司
委員	藤森 正晴
委員	小寺 俊輔
委員	松山 陽子